

研究構想シート	学校名	松江市立八雲小学校
	氏名	奥村 裕孝
A 研究主題 主体的で対話的な学びを通して、自分の思いを表現したり伝え合ったりできる児童の育成		
B 研究の目的 研究を通して、教員の授業力向上を図ることで、児童が自分の思いや考えをしっかりとつとめて、仲間と語り合いながら自らの生活を切り拓いていくことができる児童の育成を目指す		
<p>C 子どもの実態</p> <p>○様々なことに興味・関心があり、意欲的に学習に参加する児童が多い</p> <p>△自分の意見を表現しづらい児童がいる</p> <p>△友だちに分かるように伝える意識が弱い</p> <p>△友だちの意見を聴こうとする意識が弱い</p> <p>△様々な意見から、新たな解を導き出すことに苦手意識がある</p> <p>→友だちの考えを聞き、さらに自分の考えを深めていく姿を目指して指導をしたい。</p>	<p>E 手立て・内容（研究仮説）</p> <p>子どもたち自らが学びに向かえる授業づくりを行うことで、自分の考えに根拠をもって伝えるとともに、他者との対話を通して、共に考えを創り上げたり、課題解決に主体的に向かう児童が育つであろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学びのプロセスの実践 <ul style="list-style-type: none"> ①見通しをもつ場面 ②探求場面 ③振り返り場面 ・思考場面の研究 <ul style="list-style-type: none"> ①学習集団の規模 ②問い返しのある学び合い ③思考の可視化 ・ICTの活用 <ul style="list-style-type: none"> ①思考の共有化 ②個人思考場面での他者参照 	<p>D めざす子どもの姿</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の思いや考えをしっかりとつとめて、仲間と語り合いながら自らの生活を切り拓いていく児童を理想像とする。 ・授業場面においては、単元や単位時間の課題に対する自分の思いや考えをもって、仲間に伝え合いながら、課題を解決したり、より良い考えを創り出したりする児童の姿を目指す。
	<p>F 検証方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・話し合いや発表の様子 ・ワークシートの記述 ・自己評価 	
	<p>G 研究計画</p> <p>1学期</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習指導要領、学校教育目標の確認 ・年間指導計画の見直し ・「主体的・対話的な学び」でめざす具体的な児童の姿を整理 ・各学年学級で実践 <p>2学期</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業の実施（国語・外国語を中心に） ・主体的・対話的に学ぶ姿が見られたかどうか検討 ・改善案を踏まえ、授業の実践 <p>3学期</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研究全体の考察・まとめ <p>年間</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一人一授業を行い、全教職員の授業力向上と児童の学力向上を図る 	